

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和元年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原ギオンスタジアム(相模原麻溝公園競技場) 相模原ギオンフィールド(相模原麻溝公園第2競技場) 相模原麻溝公園スポーツ広場 相模原ギオンスポーツスクエア(相模原麻溝公園グラウンド)
指定管理者名	相模原市体育協会グループ 【構成団体】 (公財)相模原市スポーツ協会、日本体育施設(株)、(株)NTTファシリティーズ、(株)ギオン
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	生涯スポーツ社会の実現と豊かなスポーツライフの実現(平成23年3月:相模原市スポーツ振興計画)
施設概要	<p>【競技場】 所在地:南区下溝4169 開設年月日:平成19年4月1日 公認:(公財)日本陸上競技連盟第2種 トラック:全天候型400m、9レーン 芝生フィールド:106m×71m 観覧席:メインスタンド2, 823席、バックスタンド3, 492席、芝生スタンド8, 985人 その他施設:写真判定室、放送室、記録室、会議室、電光掲示盤、雨天走路ほか</p> <p>【第2競技場】 所在地:南区下溝4169 開設年月日:平成26年4月1日 公認:(公財)日本陸上競技連盟第4種 トラック:全天候型400m、6レーン 人工芝フィールド:107m×75m(一部変則・投てき競技対応人工芝)</p> <p>【スポーツ広場】 所在地:南区麻溝台3254 開設年月日:平成14年4月</p> <p>【グラウンド】 所在地:南区下溝4169 開設年月日:平成29年6月</p>
施設所管課	教育局 生涯学習部 スポーツ課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
【競技場】 利用者数合計(人)	220,693	195,985	181,849	237,371	253,615		
【競技場】 利用料金合計(円)	8,345,457	8,862,028	12,229,922	16,732,840	20,400,894		
【第2競技場】 利用者数合計(人)	50,469	48,511	39,470	42,140	35,463		
【第2競技場】 利用料金合計(円)	3,792,044	4,747,528	5,276,657	5,543,988	5,403,831		
【スポーツ広場】 利用件数合計(件)	966	891	843	703	657		
【グラウンド】 利用件数合計(件)	-	-	159	156	172		
【グラウンド】 使用料金合計(円)	-	-	363,200	307,200	308,800		

### 3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>C</b>	<p>【評価理由】ほとんどの項目で目標値を達成できなかったためC評価となるが、競技場及び第2競技場の利用者数に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により約一か月間施設が閉鎖したことが大きな要因と見られる。</p> <p>各施設の利用件数については達成度としては低くなっているが、第2競技場に関しては一般利用との供用のバランス、グラウンドに関しては芝の育成状況等に左右されるため、利用状況について現状分析を行い、利用者ニーズ等も踏まえながら、引き続きベストな形での施設供用を目指していただきたい。</p> <p>【委員会意見】新型コロナウイルス感染症拡大による施設閉鎖の影響により利用者の減が見られ評価に直結してしまい残念である。屋外施設についてはコロナ禍でも利用のニーズがあることから、今後の状況を精査していただきたい。</p>

指標 1	
指標名（単位）	競技場の一般利用者数（人）
指標式と指標の説明	年間の一般利用者数（競技場の陸上個人利用）

項目（単位）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値（人）	31,500	32,000	37,200	38,000	38,000	39,000	
実績値（人）	37,180	39,020	33,856	24,801	34,623	-	
達成度（%）	118.0%	121.9%	91.0%	65.3%	91.1%	-	

指標 2	
指標名（単位）	競技場の来場者数（人）
指標式と指標の説明	年間の来場者数（一般利用者数を除く）

項目（単位）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値（人）	165,000	170,000	186,000	186,000	186,000	190,000	
実績値（人）	183,513	156,965	147,993	212,570	218,992	-	
達成度（%）	111.2%	92.3%	79.6%	114.3%	117.7%	-	

指標 3	
指標名（単位）	第2競技場の一般利用者数（人）
指標式と指標の説明	年間の一般利用者数（第2競技場の陸上個人利用）

項目（単位）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値（人）	4,500	4,500	6,000	6,000	6,000	6,000	
実績値（人）	5,095	4,184	6,598	7,344	5,221	-	
達成度（%）	113.2%	93.0%	110.0%	122.4%	87.0%	-	

指標 4							
指標名 (単位)	第2競技場の専用利用件数(件)						
指標式と指標の説明	年間の専用利用件数(第2競技場)						
項目 (単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (件)	800	800	910	950	750	750	
実績値 (件)	903	958	508	439	469	-	
達成度 (%)	112.9%	119.8%	55.8%	46.2%	62.5%	-	

指標 5							
指標名 (単位)	スポーツ広場の利用件数(件)						
指標式と指標の説明	年間の利用件数(スポーツ広場)						
項目 (単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (件)	1,000	1,000	1,000	1,000	900	900	
実績値 (件)	966	891	843	703	657	-	
達成度 (%)	96.6%	89.1%	84.3%	70.3%	73.0%	-	

指標 6							
指標名 (単位)	グラウンドの利用件数(件)						
指標式と指標の説明	年間の利用件数(グラウンド)						
項目 (単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (件)	-	-	280	200	200	200	
実績値 (件)	-	-	159	156	172	-	
達成度 (%)	-	-	56.8%	78.0%	86.0%	-	

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>【評価理由】 子どもから高齢者の方まで、それぞれの世代のニーズに合わせた事業展開ができており、参加者が多数の教室が多い。また教室参加者がその後自主的に施設を利用したり、参加者の健康に繋がる事業も多く、施設の活性化、設置目的の達成にも寄与している。</p> <p>【委員会意見】 スポーツ事業から文化事業までバラエティに富んだ事業を展開しているが、施設の特性を活かした、時節を捉えた事業をより多く展開していただきたい。</p>

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
なし			

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
はつらつジョギング	4月～3月	初心者を対象としたジョギング教室。参加者が個人開放時に来場して練習するなど熱心に通われている。延べ39回、174人が参加。	◎
ノジマステラ神奈川相模原女子サッカー教室 in 相模原ギオンスタジアム	9月16日	新規事業として、ホームタウンチームであるノジマステラの選手による、小学生女子対象のサッカー教室を競技場の芝生を使い、なでしこリーグ試合前に実施。34人の参加。	○
相模原ギオンスタジアムアスレティクスアカデミー	4月～3月	年間を通じた教室で、専門家による適切な指導やアドバイスにより、スポーツ技術や、体力向上を図るとともに、子供たちへのスポーツを通じた教育を目的に実施。延べ45回(月4回)、836人の参加。	◎
シニア健康体操	4月～3月	60歳以上を対象とした体操教室。自宅でもできる内容で習慣的な運動が身に付くよう実施。講師への信頼も厚く、継続者が多数を占めている。延べ39回、249人が参加。	◎
プリザーブドフラワー	4月～3月	会議室を有効活用した文科系の教室で、ドライフラワーに近いもので、花に保存液と着色料を吸わせて、乾燥させたバラやアジサイを使い、季節を問わず飾ることのできるアレンジメント教室。目の不自由な方の参加を受け入れた。延べ20回、323人の参加。	○

## 5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>【評価理由】 昨年度まで利用者が小人に限られるため回答を得られなかったグラウンドにおいて、指導者や保護者にアンケートを求めたり、試合時にアンケートを職員が持参し依頼するなど、より多くの回答を得るための工夫は評価できるが、実際の回答数が昨年度よりも少なかったことは課題である。 内容については概ね高評価を得ており目標値も達成しているが、一部職員対応の項目で「不満・やや不満」の声があがっているため、改善を図りたい。</p> <p>【委員会意見】 利用者の満足度については高い水準を維持しており評価するが、ごわずかに寄せられている職員対応に対する不満の声に対しては真摯に向き合い、職員間で統一した、組織的な対応をお願いしたい。</p>

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用状況に鑑み、各種大会が開催される夏から秋にかけての第1期と、マラソン・ラグビーなどの大会が開催される冬場を第2期とし、利用者・観戦者などからアンケート形式により意見収集を行う。
目標値の基準	指定管理第2期の最終年度である平成28年度利用者アンケート集計を基にし、すべての施設において、「満足」「やや満足」の回答をいただいた回答割合の平均値を求め、目標値の基準とした。

項目 (単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (%)	-	-	90	90	90	90	90
実績値 (%)	-	-	94	92	94		
達成度 (%)	-	-	104.4%	102.2%	104.4%	0.0%	0.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
提案箱	通年	来場者が感じたことや施設に対する御意見などを自由に提案できることを目的に、事務所からの視界に入らない場所に受付箱を設置し、来場者が気軽に提案できるよう工夫している。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>【評価理由】 予算段階において自主事業収入を施設管理経費に充当することとしており、本体事業収支についてはマイナスとなっているが、昨年度より利用料金収入を伸ばし、また自主事業において安定した収入を確保しており、全体収支では黒字となっている。還元事業として施設の簡易修繕等を例年に比べ多く実施しており、利用者の利便性向上に大いに貢献しており評価する。</p> <p>【委員会意見】 構成団体の財務状況については、特段の問題はなしと評価する。安定した自主事業収入を得て施設管理経費に充当し、さらに利用者の利便性向上のための修繕等、還元事業を進んで実施している点について高く評価する。</p>

### 施設の収支概要

※直近3年間について記載

(千円)

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入 (a)	130,865	139,048	142,667
指定管理料	112,995	116,463	116,553
利用料金・使用料収入	17,870	22,584	26,114
その他の収入	0	1	0
支出 (b)	132,267	140,426	147,263
人件費	49,175	53,210	55,902
本社管理経費	0	0	0
施設管理経費	83,092	87,216	91,361
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	-1,402	-1,378	-4,596
自主事業収入 (d)	22,914	25,153	25,473
自主事業支出 (e)	18,635	18,946	19,396
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	4,279	6,207	6,077
全体収支 【(c)+(f)】	2,877	4,829	1,481
備考	消費税の増税に伴う支出の増や3月の新型コロナウイルスの影響に伴う閉鎖により収入が減があり、全体収支は昨年に比べ減となった。しかし、管理としては、収益を利用者に出来る限り還元できるよう積極的にカラーコーンなどの消耗品の購入やコーナガードなどの簡易修繕を行い施設の保全と景観の保持、利用者の安全の確保に努めた。		

### 団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング、現地確認により検査を実施
実施時期	令和2年9月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	競技場天然芝の管理について、一般市民の利用も多々ある中、4つのホームタウンチームの試合会場として高いクオリティを維持し続け、「する」「観る」「支える」スポーツの振興に寄与したことから加点するもの。	

## 8 指定管理者の自己評価

令和元年度は大きな社会経済の変化があり、とりわけ施設運営に直接影響を及ぼした消費税の増税や年明けからの新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設閉鎖というこれまでには経験のない事態に遭遇することとなった。

その中でも、来場される方々に対しすべての職員がホスピタリティを大切にし、利用者が再度来場したいと思うような施設づくりに努力し、また、競技者だけではなく一般の方々にも競技場へ足を運んでいただけるよう自主事業においては職員が市民ニーズなどを的確に捉え様々な教室を開催し活気あふれる競技場づくりに努力してきた。その他施設管理面では、利用に伴い消耗していた箇所の修繕を積極的に行うとともに、予防保全的な取り組みにも力を入れ安心安全に利用できるよう努めた。

これらの取り組みと努力の成果として、利用者の7割以上の方から「満足」との回答を得られることができたことは、施設管理者としての評価に値するものと考えている。

## 9 所管課意見

利用者の満足度、収支状況、管理業務の履行状況から見ても、利用者の快適なスポーツ活動の場の提供に資することができており、適切な管理運営がなされていると言える。また、自主事業においては施設の活性化に繋がる、施設の特性を活かした事業を数多く展開しており、参加者からの評価も好評であることがうかがえる。

成果指標については数値上低い評価となったが、利用料金収入の面から見れば前年度を大きく上回る実績を残しておりその点は評価できる。今後も利用者ニーズを捉えながら、可能な限りスポーツ活動の場を多く提供できるよう尽力していただきたい。

## 10 選考委員会意見

今回の評価に関しては新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設閉鎖の影響もあり低い評価となった部分もあるが、当該施設は屋外施設という点で、このコロナ禍において安全に運動できる場所として、今後重要な役割を果たしていくことになる。さらに設備が充実してきたことでニーズも高まり、利用者は今後も増えていくかと思うので、引き続き適切な管理運営に取り組んでいただきたい。

### 総合評価（自動判定）

**A**

(70/100)

